



A Clear Vision For Life®

参天製薬株式会社

第106期中間 株主通信



世界中のひとみを守りたい

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日

証券コード: 4536

長期的な経営ビジョン

「世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニー」の実現

- 真の顧客ニーズ^{*1}を深く考え
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

※1 真の顧客ニーズ: 患者さん・生活者・医師・医療従事者のアンメットニーズ

基本理念

天機に参与する

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、
これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、
患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、
社会への寄与を行う。

現中期経営計画

2017

海外売上比率

30%

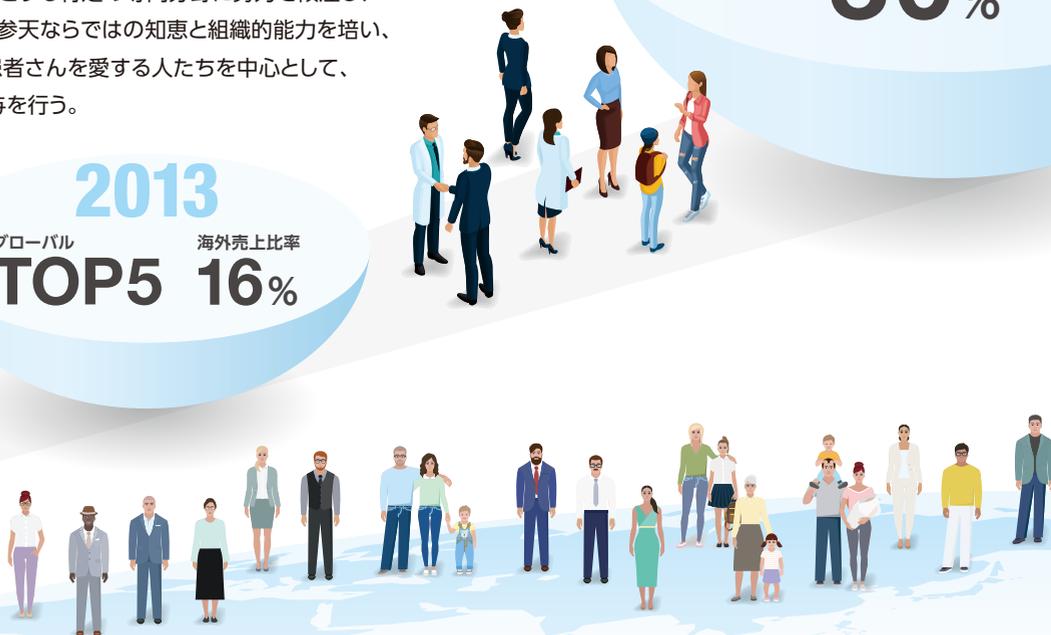
2013

グローバル

TOP5

海外売上比率

16%



2020

グローバル

日本・アジア

TOP3 以内 No.1

海外売上比率

40~50%



現中期経営計画(2014~2017年度)

アジア・EMEA^{※2} の成長と収益化 米国・その他への展開準備

※2 ヨーロッパ、中東およびアフリカ



眼科領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして 社会的責任を果たし持続的な成長を目指します。



Q. 株主の皆さまへ 第2四半期の総括をお願いします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

参天製薬グループは、長期的な経営ビジョン達成に向けて、中期経営計画で掲げた基本方針「製品創製」「事業展開」「組織・人材」に積極的に取り組んでいます。中期経営計画最終年度となる2017年度の第2四半期は、事業展開による利益の成長と将来の成長に向けた先行投資にバランス良く取り組みました。

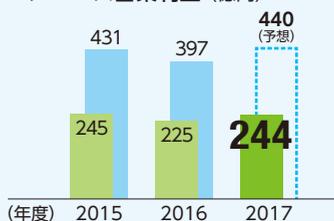
これら活動の結果、国内医療用・一般用医薬品事業いずれも継続的に伸長するとともに、海外事業においてもEMEA(ヨーロッパ、中東およびアフリカ)・アジアで高い成長率を維持し、売上収益は1,107億74百万円(前年同期比13.2%増)の増収となりました。費用・利益面では、事業基盤強化と新製品価値の最大化に向けた取り組みにより、販売費・一般管理費

連結財務ハイライト ■ 第2四半期累計 ■ 通期

売上収益 (億円)



コアベース営業利益 (億円)*



コアベース当期利益 (億円)*



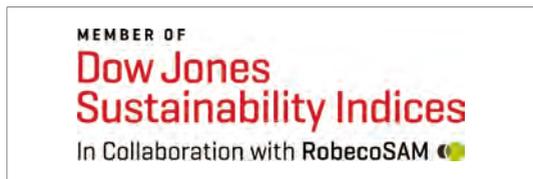
* IFRSフルベースから一部の収益・費用(製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用)を控除した、コアベース(経常的な業績を示す)による数値です。

や研究開発費が増加しましたが、それを上回る売上の伸長により、コアベースでの営業利益は243億86百万円(同8.6%増)、親会社所有者に帰属する四半期利益は179億12百万円(同6.9%増)となりました。

Q. 社会的責任投資(SRI)インデックスのひとつ、DJSIに選定されたそうですね?

[Dow Jones Sustainability Indices] (DJSI) は、1999年に世界で初めて創設された社会的責任投資(Socially Responsible Investment, SRI) 指数で、企業の持続可能性を経済・環境・社会の3つの観点から評価し、長期的な成長が期待される銘柄を選定するものです。

当社はこのたび、DJSIのアジア・太平洋版である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の対象銘柄152社(うち日本企業は72社)のひとつとして、初めて選定されました。この選定は、眼科領域に特化したスペシャリティ・カンパニーと



して、参天製薬グループがCSR(企業の社会的責任)と一体で事業活動を展開してきたことへの評価と受け止め、今後も社会的責任を果たしてまいります。

Q. 通期展望と株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

当期の通期連結業績予想については、売上収益2,180億円(前年同期比9.5%増)、コアベースでの営業利益440億円(同10.9%増)、当期利益312億円(同8.8%増)を見込んでいます。株主の皆さまへの利益還元につきましては、配当性向40%を目途とし、業績に基づく安定的な配当実施に努めています。当期配当は、昨年と同じく、中間13円、期末13円の合計26円を予定しています。

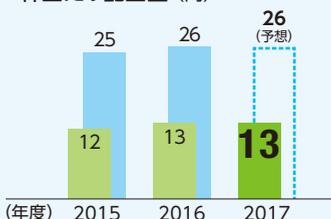
今後も参天製薬グループは、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医のアンメット・メディカル・ニーズを的確に捉え、これらを反映した製品やサービスの提供に努めていくことで、世界から信頼され、認められる企業を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長兼 CEO 黒川 明

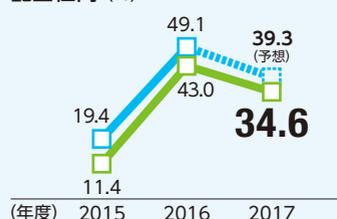
研究開発費(億円)



1株当たり配当金(円)



配当性向(%)



緑内障患者さんの多様なニーズに幅広い製品ラインナップで応える

参天製薬では、患者さんの症状やその進行度合いに適応する幅広い種類の製品ラインナップをグローバルに展開し、世界の様々な地域の患者さんのQOL向上に取り組んでいます。

どんな病気なの？

眼圧の上昇などにより視神経が障害され、徐々に視野(見える範囲)が狭くなる病気です。緩やかに進行するため患者さんの自覚症状が少ない一方で、病気が進むと失明に至ることもあり、早期の発見と治療がとても重要です。

治療は、眼圧を下げる効果のある点眼薬などで、病気の進行を抑えることが基本です。

徐々に視野が狭くなる

進行が緩やかで、自覚症状が少ない

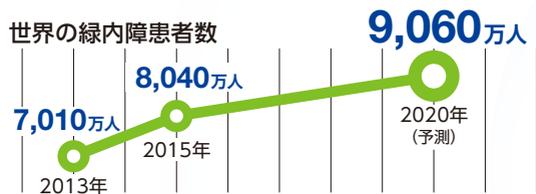
病気が進むと失明に至ることも

どれくらいの患者さんがいるの？

日本での患者数は、40歳以上の20人に1人とされており*、高齢者人口の増加により今後も増加が予想されます。世界でも患者数が増加しており、2020年には9,060万人程度まで増加するとの予想もあります。

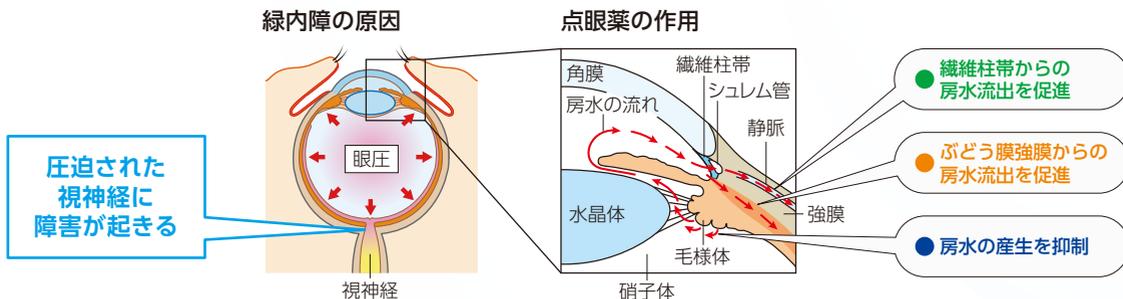
また、WHO(世界保健機関)調査によれば、世界全体では年間450万人が緑内障で失明しており、2020年には1,110万人以上になるとの予測もあります。

* 日本緑内障学会多治見緑内障疫学調査による



緑内障の原因と点眼薬の作用

治療のひとつに点眼薬によって目の中の房水の量を調節し、眼圧を下げ、視神経の障害が進むのを抑える方法があります。



参天製薬の製品ラインナップの拡大

点眼薬の作用

- 繊維柱帯からの房水流出を促進
- ぶどう膜強膜からの房水流出を促進
- 房水の産生を抑制

2004
● レスキュラ



2008
● タプロス



2001
● デタントール

1981
● チモプートル

1999
● チモプートルXE

2010
● コンプト



2014
● タブコム



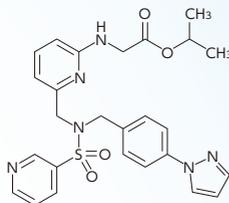
2015
● コンプトミニ



開発中

DE-117

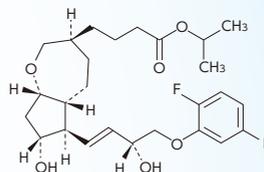
従来とは異なる新しいメカニズムで作用する。2017年内に申請予定



開発中

DE-126

従来の製品より強い眼圧下降作用を期待

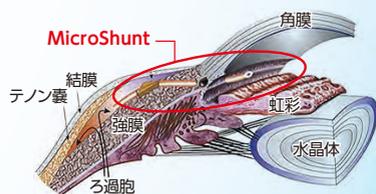


開発中

DE-128

(InnFocus MicroShunt)

生体適合性の高い素材で作られた、房水の流出を促進するマイクロチューブ



アジア・EMEA地域での眼科医療への 貢献を通じて、グローバルでの成長を実現

参天製薬は、長期的な経営ビジョンで掲げている「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現のため、アジア・EMEA地域でも積極的に事業を展開しています。

両地域では、既存市場で事業基盤のさらなる確立に努めるとともに、新興国への参入を進めており、今後も力強い成長が期待できます。

In EMEA (Europe, the Middle East, and Africa)

市場からのニーズの高い緑内障治療剤に加えて、ヨーロッパで初の成人ドライアイ患者における重度の角膜炎を適応症とした医療用治療剤アイケルビスをはじめとする参天製品の浸透により、成長を続けています。

年平均成長率
30.7%

売上収益推移 (億円)



参天製薬は各国・地域の多様なニーズへのきめ細やかな対応を通じて、グローバルでの眼科医療への貢献に取り組んでいます。

海外売上比率

16% (2013年度)

↓
29.6%

(2017年度第2四半期)

製品販売国

60ヶ国以上

生産拠点

4工場

能登、滋賀(日本)
蘇州(中国)
タンペレ(フィンランド)

従業員数

約**3,700**名

国内約**1,900**名
海外約**1,800**名

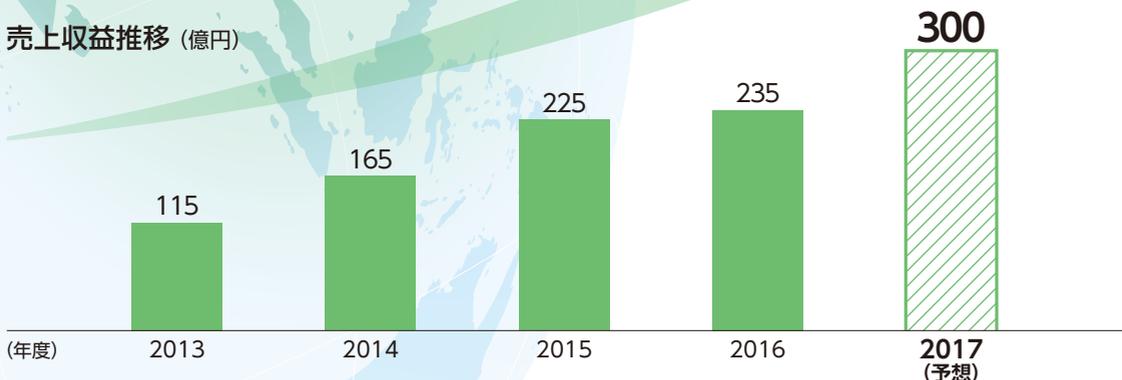
In Asia

中国や韓国、ベトナムを中心として、感染症やドライアイ治療剤などの参天製品へのニーズが非常に高く、市場を上回る成長を続けています。

年平均成長率

27.1%

売上収益推移 (億円)



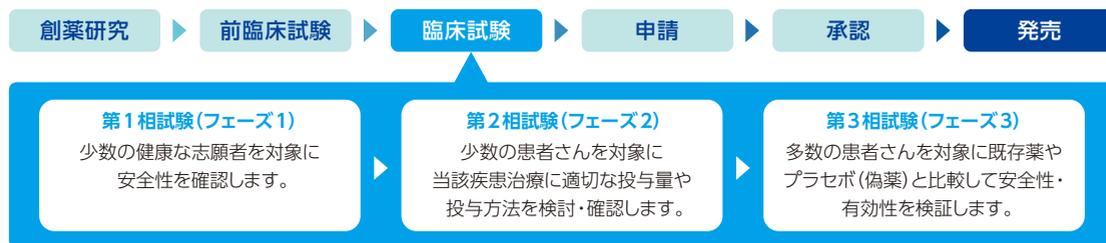
医療ニーズに合わせた研究開発を推進

参天製薬では、眼科に特化した研究開発を推進しています。特に、治療薬がまだ世界的に十分普及していない「角結膜疾患」や、患者数が増えつつある「緑内障」および「網膜疾患」を重点領域として、医薬品の開発を行っています。2017年11月1日現在、医薬品の開発状況（臨床段階）は以下の通りです。

■緑内障領域 ■角結膜疾患領域 ■網膜・ぶどう膜炎疾患領域 ■その他疾患領域

開発コード・品名	一般名	効能・効果	地域	臨床試験			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
DE-117	オミデネパグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	米国	■					
			日本		■ フェーズ2b/3				
			アジア	■					
DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国	■ フェーズ2b					
			日本	■ フェーズ2b					
DE-128 (InnFocus MicroShunt)	-	緑内障	米国	■ フェーズ2/3					
			欧州	■					
カチオプロスト	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州	■					
DE-089	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	中国				2017年10月		
DE-114A	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本	■					
シクロカット	シクロスポリン	ドライアイに伴う 重度の角膜炎	米国	■					
			アジア				2016年11月		
			その他				2016年4月		
ベカシア	シクロスポリン	春季カタル	欧州				2016年12月		
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国				2017年2月		
			日本	■					
			欧州	■					
			アジア				2015年4月		
DE-122	carotuximab	滲出型加齢黄斑変性	米国	■ フェーズ2a					
DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	アジア	■ フェーズ2試験を準備中					

! 医薬品が承認されるまで



TOPICS トピックス

参天製薬も協賛する「なみだの日(7月3日)」制定を記念したイベントが、東京・丸の内で開催

7月3日が「なみだの日」に制定されたことを受け、その前日の2017年7月2日、東京・丸の内の「KITTE」で記念イベントが開催されました。参天製薬も、目の健康に寄与する企業としてこのイベントに協賛しました。

「なみだの日」は、涙に関する代表的な疾患であるドライアイの研究促進、治療の質向上と普及を目的に活動している「ドライアイ研究会」が、目の健康に重要な役割を担う「涙」の正しい理解と重要性を広く社会に伝えることを目的に、一般社団法人日本記念日協会に申請し、認定を受けたものです。イベントでは、ビジョンバンと呼ばれる眼科医療支援車両による無料の涙検診や眼科医による涙に



関するトークショーが実施され、多くの方にご来場いただきました。

参天製薬は、今後も目の健康に関する情報発信、啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

視覚障がいのある子どもたちがスポーツに親しむイベントに協賛

参天製薬は、眼疾患への理解と関心を高めるとともに、従業員がボランティアなどを通じて患者さん視点の意識を深めることを目的に、視覚障がい者スポーツの支援に取り組んでいます。

2017年7月29日、30日には、参天製薬がパートナーシップ契約を結ぶNPO法人日本ブラインドサッカー協会(JBFA)の主催で「参天製薬 ブラサカキッズキャンプ2017 in 関西」が兵庫県グリーンエコー笠形で開催され、当社からも社員26名がボランティアスタッフとして参加しました。このキャンプは、視覚に障がいのある子どもたちが、スポーツに触れ、学校以外の場で日常的にスポーツに取り組むきっかけとなる場として、JBFAが毎年



夏に開催しているものです。

キャンプには、子どもたちや保護者、JBFAスタッフ、ボランティアを合わせ100名以上が参加し、ボール運動や体力測定、川遊びなどを通して交流を深めました。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載 URL : <http://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL:0120-094-777

会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	参天製薬株式会社
本社	〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号
創業	1890年
設立	1925年
資本金	7,792百万円
工場	能登、滋賀、他
研究所	奈良研究開発センター、他
従業員数	3,667名(連結)

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL: 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (広報 IR)

Email: ir@santen.com

URL: <http://www.santen.co.jp>



ホームページに最新の情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

参天製薬株式会社

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。